

未来につながる、明日をつくる。



**EPOC**

環境パートナーシップ・CLUB

ENVIRONMENTAL PARTNERSHIP ORGANIZING CLUB

[www.epoc.gr.jp/](http://www.epoc.gr.jp/)

## ごあいさつ



環境パートナーシップ・CLUB  
会長  
トヨタ自動車(株) 新美篤志

2000年に設立されたEPOCも、2005年の日本国際博覧会(愛知万博)、2010年の生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)と、この地域のイベントとともに実績を積み重ねて、12年目を迎えることとなりました。近年の社会情勢の大きな変化を受け、「環境」や「エネルギー」への注目が一段と高まってきています。そのような中、環境パートナーシップ・CLUB(EPOC)の果たすべき役割は、2020年ビジョンにも示している通り、幅広い会員の環境のわざ(成果)を活かして、「低炭素社会」・「循環型社会」・「自然共生社会」を相互に連携させた「持続可能な経済社会」の構築を目指すことにあります。今までの取り組みを改めて振り返り、2020年ビジョンの下で積極的な活動を継続いたします。

EPOCが活動拠点とする中部地区は、日本の産業の集積地であり、この地域で業界の枠を超えた環境への取り組みに参画することは、様々な問題を解決する一つの糸口になるものと思います。この利点を最大限に活かすためには、地域全体で、環境取り組みの情報をお互いに発信していくことが欠かせません。特に環境問題は、一事業者で完結する課題ばかりではなく、社会全体で取り組まなければならない課題が数多くあります。世界中で実証実験が行われているスマートシティのような試みは、様々な業種が一体とならなければ成立せず、異業種間の連携の重要性は益々高まることでしょう。有益な情報を社会へ発信し、産業界全体の底上げと更なるレベルアップを図ることが、EPOCの重要な役割であると考えます。

業界団体を母体とする環境の集まりが世の中に数多くある中、EPOCのように行政、大学・研究機関ならびに業種や規模の垣根を越えた企業が集まる団体は、大変貴重な存在であると感じています。エネルギー問題、円高など、多くの産業が様々な対応を迫られている今こそ、EPOCの特徴である「産官学連携」の威力が発揮されます。この強みを活かし、社会・地域での活動をさらに発展させるためには、皆様のご理解ならびにご協力が不可欠です。「今よりもっとよい方法がある」その改善の精神は、モノづくりの現場だけでなく、環境への取り組みにおいてもあてはまる言葉です。多様な会員の皆様と共に「持続可能な経済社会」の構築を実現するため、今後も積極的なご参加をお願い申し上げます。

環境パートナーシップ・CLUB会長 **新美篤志**



副会長 佐伯 卓  
東邦ガス(株)



副会長 野田豊範  
東海旅客鉄道(株)



副会長 小池利和  
ブラザー工業(株)



副会長 宮池克人  
中部電力(株)



副会長 加藤宣明  
(株)デンソー



副会長 加藤太郎  
日本ガイシ(株)

## 設立の目的

産業界の環境オピニオンリーダーが中心となり、エコ・エフィシエンシー(環境効率性)の実現を追求するとともに、中部圏から環境対応に関するさまざまな情報を発信し、世界に誇れる環境先進地域の形成と安全かつ快適な「循環型経済社会」の構築を目指します。

- 環境行動の社会への浸透活動
- 環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- 環境行動に関する情報発信活動
- 環境行動に関する国際交流活動

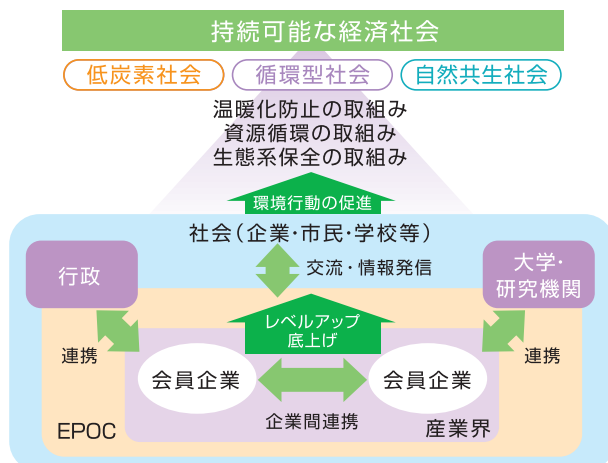
## 2020年ビジョン

### 「環境のわざ」を活かして 持続可能な経済社会の実現へ

企業が培ってきた環境のわざ(成果)を活かして、「低炭素社会」・「循環型社会」・「自然共生社会」を相互に連携させた「持続可能な経済社会」の構築を目指す。

#### 活動方針

- 環境経営の実践と連携強化により産業界全体の底上げと更なるレベルアップを図り、環境と経済の両立を目指した事業革新を推進する。
- 会員以外の企業や市民・学校等、地域との交流や情報発信により、環境行動の契機を提供する。



## 主な活動

### 環境経営

セミナー・視察活動・勉強会などを通じて、会員企業が環境問題に関連する社会動向をつかみ、中長期的な経営ビジョン構築や環境経営の推進に参考となるようなタイムリーな情報・知見を提供しています。



セミナー・勉強会

### 次世代交流

小・中学校をはじめとする次世代層への環境啓発・教育の支援として、会員企業が有する教育ツール・施設を活用した環境講座・見学を実施するとともに、自治体等との連携で、幅広い環境啓発活動の実践に取り組んでいます。



会員企業による環境講座

### 自然共生社会

企業の事業活動全般を通じて生態系に与える影響の把握・低減への取り組みや、生態系から得られる便益の持続可能な利用に関する取り組みなど、生態系と企業の関わりについて事例調査等を行うことで会員企業の今後の取り組みをサポートします。



生物多様性保全地域の視察

### 海外交流

海外研修生の受入機関との継続的な連携のもと、会員企業の事業所を訪問し、環境への取り組みやEPOC活動の紹介を行い、意見交換を通じて交流の促進を図っています。



タイ・ベトナム研修生との交流

### 循環型社会

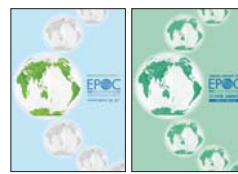
中部地区の資源循環社会の形成を促進するため、セミナー・視察や資源循環情報システムを通じ、会員企業のみにとどまらず、広く情報発信しています。産官学の連携を活かした、情報交換・知識・技術の向上の場を提供し、技術開発や事業化に向けた課題検討を行います。



先進環境取り組みの視察

### 活動報告

活動成果を広く社会へ普及・展開するため、その成果をまとめた報告書等を配布しています。



パンフレット・アニュアルレポート

### 低炭素社会

低炭素社会に向けた先進取り組み事例や革新技術を調査し、会員企業へ紹介するとともに、業種や業態の枠を超えた幅広い温暖化防止事例の収集と情報発信により、会員各社のレベルアップと相互交流・連携の促進を図っています。



再生可能エネ施設の視察

### 情報発信

最新の環境関連情報やEPOCの活動紹介等をホームページで発信することで、社会に対する環境意識の高揚と環境活動の拡大を目指しています。



ホームページ

### 地域交流

「愛知環境賞」(愛知県受託事業)の企画実行を主な活動とし、表彰事例の周知、普及展開等を実施しています。更なる「環境先進地域」を目指し、会員相互が参加・交流出来るよう、講演会、交流会等の企画・実施を図ります。



2012愛知環境賞 表彰式

### 総会・理事会・幹事会

年1回開催される総会では、環境問題に熱心な企業の経営層の方等をお招きし、環境教育に係わる講演会を開催しています。また、年2回開催される理事会、幹事会ではEPOCの活動に関する中長期的な議論が活発に行われています。



総会

## 役員・顧問 2012年4月1日現在

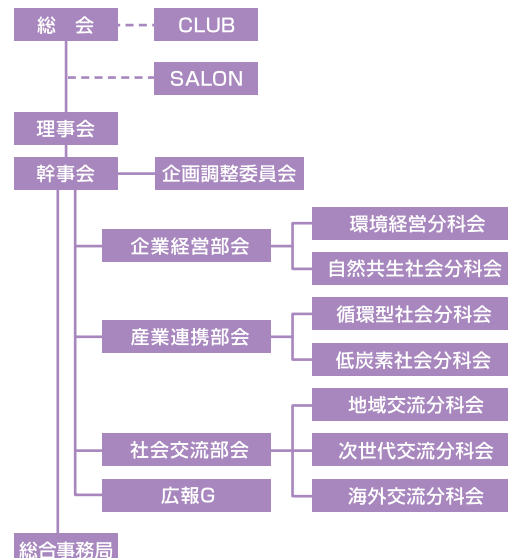
会長 新美 篤志 トヨタ自動車(株)代表取締役副社長  
副会長 佐伯 卓 東邦ガス(株)代表取締役社長  
副会長 野田 豊範 東海旅客鉄道(株)代表取締役副社長  
副会長 小池 利和 プラザー工業(株)代表取締役社長  
副会長 宮池 克人 中部電力(株)代表取締役副社長執行役員  
副会長 加藤 宣明 (株)デンソー 代表取締役社長  
副会長 加藤 太郎 日本ガイシ(株)代表取締役社長  
理事 島貫 静雄 アイシン精機(株)専務取締役  
理事 宮崎 孝夫 (株)荏原製作所 理事中部支社長  
理事 平山 正之 新東工業(株)代表取締役会長  
理事 宮坂 明博 新日本製鐵(株)常務執行役員 名古屋製鋼所長  
理事 伊藤 博之 (株)ダイセキ 代表取締役社長※  
理事 伊村 晟 (株)豊田自動織機 取締役会長  
理事 種村 均 (株)リタケカン(ニューリミテド) 代表取締役社長  
理事 湯原 政文 (株)日立製作所 中部支社 支社長 執行役員  
理事 佐々木慎也 富士通(株)東海中部営業本部長  
理事 三箇山秀之 三井物産(株)執行役員中部支社長  
理事 有代 匡 (株)ILXIL 取締役副社長執行役員 住設・建材カンパニー社長  
理事 内藤 明人 リンナイ(株)代表取締役会長

監事 石塚 芳三 石塚硝子(株)代表取締役会長  
監事 舟橋紳吉郎 シヤチハタ(株)代表取締役会長  
総合事務局長 竹内 弘之 (一社)中部産業連盟副会長 総合事業本部長  
顧問 紀村 英俊 経済産業省中部経済産業局長  
顧問 神田 修二 環境省中部地方環境事務所長  
顧問 大村 秀章 愛知県知事  
顧問 古田 肇 岐阜県知事  
顧問 鈴木 英敬 三重県知事  
顧問 河村たかし 名古屋市市長  
顧問 太田 稔彦 豊田市市長  
顧問 小川 英次 学校法人 梅村学園(中京大学)理事長  
顧問 架谷 昌信 愛知工業大学工学部機械学科特任教授  
顧問 松下 篤 EPOC前会長 <日本ガイシ(株)代表取締役会長>

## 会員企業・団体

2012年3月31日現在 268社(者)

## 組織体制



※2012年7月10日付就任予定

# 環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) 入会のご案内

## 特典

- 異業種交流、産学官民交流を通じて環境諸活動に関するベンチマークを実践できます。(各企業、団体等の環境負荷低減活動の取り組み状況やその効果・成果等)
- 講演会、セミナー、シンポジウムなどを通じて、環境に関する最新の諸情報を得ることができます。
- 循環型経済社会の構築に関する調査、研究及び各種活動に参画していただくことができます。

## 入会資格(一般会員・特別会員とも)

- 1. ISO14000シリーズの認証取得者
- 2. その他の国際環境規格と認められる規格の認証取得者
- 3. EPOC会員からの推薦のあった者  
ISO14000シリーズ等国际環境規格の取得に取り組んでいる者  
国際環境規格の取得を支援する者  
その他、環境負荷低減活動に熱意があると認められる者

## 申込方法

- 入会の申込はホームページから入会申込書をダウンロードしていただき、必要事項ご記載の上、EPOC総合事務局まで送付ください。入会資格審査後、総合事務局より入会のご案内を差し上げます。

## 会費

- 1. 会費(1年間)  
一般会員(企業・団体): 5万円/口(税別)  
原則2口以上、ただし中小企業基本法に定める中小企業は1口以上  
特別会員(学識経験者、国・地方公共団体): 無料
- 2. 入会金5万円(税込み)  
※ご入会いただきますと会員認定状を発行いたします。  
※入会資格及び脱会につきましては、EPOCの規約に則って審査いたします。